

台中緊張のはざま 最高の滑りを

台湾の旗手何選手

ホー

台湾は3千級級の高峰が100以上あるがウィンタースポーツとは縁がない。「不毛の地」で育ったアルペンスキーヤー、何秉睿選手(23)が4日夜、開会式で旗手の大役を任された。中国と緊張関係にある「CHINESE TAIPEI」。

開会式への参加が決まったのは、わずか4日前だった。

長野で練習積む

五輪をめざす原点は日本

台湾には以前はスキー場があったが、温暖化の影響で降雪量が減り、閉鎖されたという。「日本料理、村のイタリ

ア料理店がお気に入りです」

「日本料理、村のイタリ」



た

19歳だった平昌五輪はわずかに基準を満たせず、北京五輪を目標に欧州で腕を磨こうとしたところでもコロナ禍に見舞われた。「台湾に帰るしかなかった」。2年前の春、台北市に戻った。雪とは縁がない日々。4カ月の兵役。五輪への思いは募る。昨秋、欧州に戻った。「スキー靴に足を踏み入れた瞬間の興奮

開会式会場に入場するアルペンスキー代表の何秉睿(右)ら台湾選手団。4日、北京の国家体育場、角野貴之撮影。4歳のとき、新潟・上越国際スキー場で初めてスキーをしたときの何秉睿選手。本人提供



朝日新聞東京本社
〒104-8011
東京都中央区築地5-3-2
電話 03-3545-0131 www.asahi.com

2022年(令和4年)

2月5日

土曜日

は忘れない」

しかし、1年半のプランクは冷徹で、感覚が戻らない。野沢温泉のスキークラブがオーストリアの氷河で合宿すると聞き、10月末に合同練習に参加した。直後の国際大会で好タイムが出て、五輪切符を手にした。

五輪に厳しい目

台湾では中国軍が台湾の領空近くまでの進入を繰り返す挑発への反発が強い。世論の一部には五輪をボイコットすべきだ、との論調もあった。

3年余り前には、東京五輪に「中華台北」ではなく「台湾」の呼称で出場することの賛否を問う住民投票もあった。

北京五輪を巡っては1月26日、中国政府報道官が台

湾の参加について、1989年に双方で合意した「中華台北」でなく、中国の一部とみなすような「中国台北」の呼称を会見で使った。2日後、蔡英文政權は開閉会式に選手団を参加させない方針を発表。ところが、わずか3日後に撤回した。ここでも参加を促すIOCの働きかけがあったとされる。

今回、何選手には北京五輪に出場が決まり、欧米メディアからの取材依頼も相次いだ。「僕が今、政治的なことについて発言するのは控えたい。最高の滑りで応援してくれている人たちに感謝を伝えたい」。仰ぎ見るオーストリアのメダル候補たちと同じ旗門を攻める舞台に集中する。

(編集委員・稲垣康介)